



## 平成19年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成19年 1月24日

会社名 日本興業株式会社

(JASDAQ・コード番号:5279)

(URL <http://www.nihon-kogyo.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 坂口 昌平

問い合わせ先 責任者役職名 取締役常務執行役員

氏名 山本 秀勝

(Tel):(087)894-8130)

### 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高又は売上に相当する事項の会計処理の方法の : 無  
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

### 2. 平成19年3月期第3四半期業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

#### (1) 売上高

(百万円未満切捨)

	百万円	%
平成19年3月期第3四半期	12,214	(4.6)
平成18年3月期第3四半期	12,801	(8.8)
(参考)平成18年3月期	19,725	(4.7)

(注)1.売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2.パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

#### [売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の動向に不安要因を抱えながらも、堅調な企業業績に支えられ、民間設備投資の増加や雇用環境の改善が続くなど、景気は回復基調で推移いたしました。

しかしながら、建設業界では国や地方の公共事業が減少傾向であり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当グループ（当社および連結子会社）は、引き続き上昇する原材料費への対策として、原価の低減や生産効率の向上などにより継続的にコスト抑制に取り組み、また、自社製品の売上拡大による収益性の確保を推し進めてまいりました。

当第3四半期は、前年の業績に大きく寄与した「つくばエクスプレス」開業に伴う駅前整備事業などの大型物件がなかったことから主に都市環境部門が減収となり、連結売上高は前年同四半期比4.6%減の122億14百万円となりました。

なお、都市環境部門ならびに土木部門関連製品は官公庁向けが主体のため、第4四半期が需要期となります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象  
該当事項はありません。

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	18,500	140	140	9 19

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

平成 18 年 11 月 17 日に公表いたしました当初の業績予想に変更はありません。

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、  
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上